医療法人耕仁会
セージュ山の手3階
音楽療法

セージュ山の手
土生悦子

平成２２年１月１９日発表

本発表の流れ

- 3階の状況
- 音楽療法の様子
- 3階全体の変化について
- 今後の方向性として

3階の状況

- ベット数　４０床（入所３９　ショート１）
- 男性１４名　　女性２６名
- 平均年齢　80、6歳
  最小年齢　56歳～最高年齢 97歳
- 平均介護度 3
- 主病名　血管性認知症　統合失調症
  アルツハイマー型認知症

活動について

	月	火	水	木	金
午前	体操 ゲーム	体操 ゲーム	体操 ゲーム	音楽療法 太田病院 より	体操 コーラス
午後	塗り絵 音楽活動 ピアノの会	音読	コーラス 音楽活動	書道	ドリル 音楽活動

ケアビクス

準備体操として体をほぐす

＊プライバシー保護のため、お顔にモザイク処理をさせていただいております。

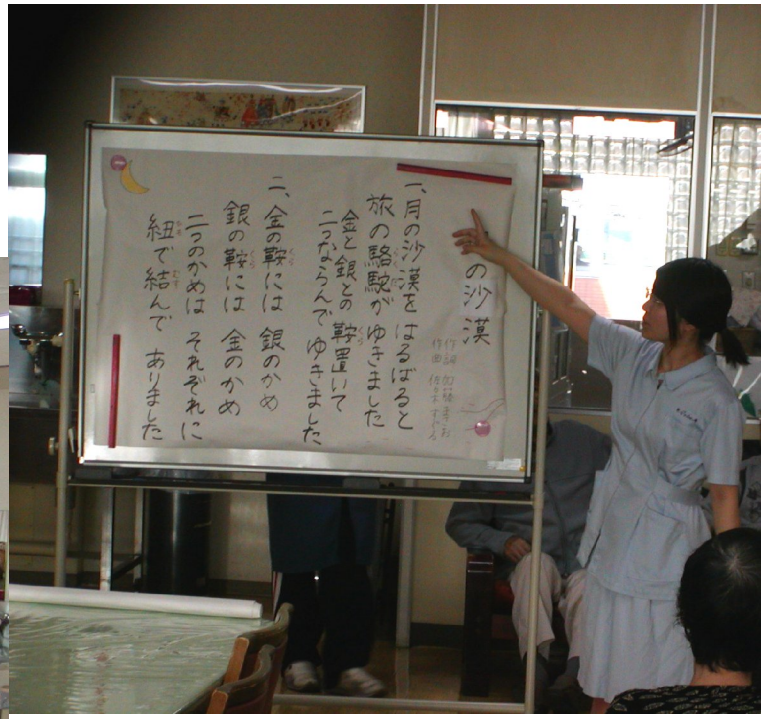
あいさつ、話題

挨拶後、見当識訓練と季節や近々の行事の話をする

＊プライバシー保護のため、お顔にモザイク処理をさせていただいております。

歌唱

利用者の好みのものや時季にあった
曲を提供し、
反応が良かった曲はくり返して楽し
んで頂いている



クールダウン

気持ちを落ち着かせるために深呼吸する

３階全体の変化として

- 参加者が少しずつ増え活動時の利用者が徐々に相槌したり発語する場面が見られた
- 活動終了後に拍手とともに感謝の言葉を受けた
- 普段の介護場面で「今日は歌ないの？」と利用者自ら声をかけてくれた

Y氏（70代女性）

- 普段は居室にいる事が多く、居室では読書をしたり、外を眺めたりと他者との交流はあまり見られなかった
- 音楽療法を始めてから少しずつDRに来るようになり、最近では様々な活動に参加されるようになった
- 本人に好きな曲を聴くと、「月の砂漠」と答えられ、セッションで用いると表情が柔らかくなる

N氏（80代男性）

- 普段DRにて過ごされているが、各活動は行わず、ほとんど見ているだけである
- 音楽療法など音楽に合わせて足でリズムをとっている姿見られていた
- 楽器演奏の際、本人に楽器を鳴らしてもらうと、合図に合わせてきちんと鳴らせる
- 施設行事の際、楽器演奏をお願いし、上手に鳴らしていた

まとめ

・活動参加の声かけにより、DRに利用者が集まるようになった

・ただ座っているだけでなく、徐々に活動に目を向ける、耳を傾ける様子が見られる

・帰宅願望の強い方が職員の寄り添いにより、活動参加中は落ち着いている

今後の方向性として

生活支援の中で音楽を取り入れる

- 長時間の参加が出来ない方へ音楽を介した個別性のある関わりをしていきたい

•個人の好みを探りバラエティーに富んだ曲を提供し、４０人1人1人の潤いのある生活を提供していきたい

音楽で心の輪をつなぐ

ご清聴ありがとうございました